

不適合情報

2022年1月24日(月)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. G I グレード 0件

2. G II グレード 0件

3. G III グレード 4件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	タービン建屋地下1階(管理区域)～補助建屋間トレンチ床面の伸縮接合部(ゴムラバー)に、地下水の浸入と思われる水溜まり(約140リットル、汚染なし)を確認した。当該事象の原因を調査し修理。	2022/01/20	
2	6号機	非常用ディーゼル発電機(A)排気管取替工事において、屋外雨仕舞い下部の排気管サポートに腐食を確認した。当該サポートを修理。なお、非常用ディーゼル発電機の機能に影響なし。	2022/01/18	
3	6号機	タービン建屋地下2階(管理区域)配管トレンチ内で配管サポート溶接作業に従事していた協力企業作業員のγβ線用警報付きポケット線量計が鳴動し、線量計を確認したところ、β線量0.1mSv、γ線量0.00mSvを確認した。退域して保安監視員に報告。作業場所のエリアモニタ指示値に、変動がないことを確認。当該線量計の使用を禁止し、作業員の線量評価を実施。	2022/01/19	
4	その他	1号機中央制御室において、5・6・7号機海水モニタ異常の警報の発生を確認した。調査の結果、指示値の欠測および新潟県へのデータ伝送の欠測を確認した。新潟県へ報告済み。データ収集処理装置が自動で復帰し、海水モニタおよびテレメータ装置に異常がないことを確認済み。当該事象の原因を調査。	2022/01/19	

—	4号機	非常用ディーゼル発電機(B)給気管蛇腹部に打痕(約15mm)があることを確認した。打痕状況についてメーカーの見解を確認し、対応方針を検討。なお、非常用ディーゼル発電機の機能に影響なし。 2022年2月18日再審議にてグレード変更 GIII→その他	2022/01/19	
---	-----	--	------------	--

※2022年2月21日 再掲載